

■ 産学連携推進会の活動記録

2019年度（～2020年7月）

2019年6月11日（火）

「学生と企業がともに考えるインターンシップ説明会」を開催

産学連携推進会の試行的な取組みとして、2019年6月11日（火）の14時45分から17時20分、地域未来牽引企業6社〔(株)山本金属製作所、木ノ本伸線(株)、辰巳工業(株)、(株)テクノタイヨー、(株)中田製作所、山本光学(株)〕トップによる4年生対象のインターンシップ説明会を本校図書館2階の視聴覚大ホールで開催しました。

当日は、学生107名参加のもと、各社の渾身のプレゼンが展開され、学生にとってはインターンシップへの理解を一層深めることができ、企業にとっては学生が感じた率直な感想や疑問等がフィードバックされ、より魅了あるインターンシップとは何かを考える機会となりました。



2019年8月6日（火）

産学連携推進会総会を開催

本年4月に立ち上げた産学連携推進会のキックオフとして、総会及び情報交換会を下記のとおり開催しました。

と き	2019年8月6日（火）14時30分から16時	と ころ	本校図書館2階ゼミナール室
出席者	46名（会員22名、本校教員他24名）		

概 要

- ①会長の東校長挨拶
- ②近畿経済産業局地域経済部地域経済課長 細川 洋一 様から来賓挨拶



- ③「推進会」の運営体制として、会長に東校長、代表幹事に木ノ本伸線(株)、幹事に辰巳工業(株)、(株)テクノタイヨー、(株)中田製作所、(株)山本金属製作所、山本光学(株)が決定しました。

- ④事業計画案が了承されました。

- ⑤大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻の大須賀 公一教授から『「大阪大学コマツみらい建機協働研究所」から探る産学連携の型』をテーマにご講演いただきました。



■ 総会終了後に情報交換会を開催しました。

産学連携推進会 セミナーを開催

第1回 2019年10月18日(金)

と き 2019年10月18日(金) 15時30分から17時
その後交流会を開催

と ころ 本校管理棟3階会議室1

講 師 本校電子情報コース教授 早川 潔

参加者 23名(会員17名、本校教員他6名)

概 要

「AI/IoTの技術動向と共同研究事例」について講演

近年、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステム(CPS:サイバーフィジカルシステム)が注目されており、そこでの重要な技術として、IoTやAIが挙げられこと。

IoTやAIの技術動向について、本校のシーズと、これら研究シーズによって共同研究に発展した事例を紹介し、共同研究する上での注意点などを説明。



第2回 2020年2月12日(水)

と き 2020年2月12日(水) 15時30分から17時
その後交流会を開催

と ころ 本校管理棟3階会議室1

講 師 本校校長 東 健司

参加者 32名(会員26名、本校教員他6名)

概 要

「新商品の見つけ方」について講演

各企業のコア技術を活かした新商品を開発するため、

- ①国の政策(科学技術基本計画など)の反映
- ②マーケットの考え方
- ③自社の製品の特徴(強み、弱み、課題)
- ④外部からの評価の重要性

等について概説した。



第3回 2020年6月25日(木) 15時30分~17時

と ころ 本校 ゼミナール室

講 師 大阪府立大学 URA センター
知財マネジメントオフィス 漆原 誠一 氏

参加者 会員10名、本校教員他7名



「産学連携と知的財産」について講演

近年、知的財産関連の事件が茶飯事となっており、事業において知的財産への配慮は不可欠。

これは知財部門や法務部門のみならず、企画、技術、製造、営業部門に加え、大学等の研究機関が社会貢献していくあり方の1つである産学連携にも該当。

しかしながら、どういう場面で知財への配慮をすべきか、どういった課題に取り組むべきかは難しいテーマ。

このため、今回、知財の重要性や産学連携における課題を改めて整理された。

会員企業より学生に「特別講義」を実施

- 2020年7月16日(木)
マイクロニクス(株)
「最近の再生医療自動化機器の動向について」
- 2020年7月30日(木)
(株)東研サーモテック&朝日熱処理工業(株)
「西部金属熱処理工業協同組 熱処理出前授業」

